

ぬくもり



身延町「本栖湖と富士山」



南部町「富士川沿いの桜並木」



市川三郷町「神明の花火」



早川町「赤沢宿の石畳」



富士川町「大柳川溪谷の紅葉」

写真提供：市川三郷町・早川町・身延町・南部町・富士川町



地区支部活動の活性化と、 安心して暮らせる 地域づくりのために

公益社団法人山梨県看護協会峡南地区支部長
赤坂 繁美

皆様には、日頃より地区支部活動にご協力いただき深く感謝しております。また、昨今では新型コロナウイルス感染症の対応にご尽力いただき、本当にありがとうございます。

峡南地区支部では、安心して暮らせる地域づくり、「地域で働く看護職の連携を強化し、顔の見える関係づくり」をモットーに活動を行っています。昨年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の為、研修会や様々な行事が中止となり、皆様には大変ご迷惑おかけしております。今年度においても、定期総会は書面議決となり、シンガーソングライターの岩崎けんいち様に、「生きる」「命」をテーマにご講義いただく予定であった記念講演も中止となりました。市民公開講座では、ふじ内科クリニックの在宅ホスピス医の内藤いづみ先生に、「在宅医療、在宅での看取り」をテーマにご講義をいただく予定

でしたが中止となりました。今後予定しているトピック研修は、初の試みでYouTube配信を決定しました。皆様からの意見をいただきながら今後の活動に繋がっていきたいと思います。看護研究発表会は、日頃の成果を発表する場であり、他施設の方の声を聴く貴重な場です。感染拡大防止を視野に入しながらどのような形で開催するのが良いのか検討しております。

峡南地区支部は小さな支部です。高齢化が進んでいる、独居世帯が多い、山間地にある等様々な問題を抱えています。今後活動をしていくうえで、どのようにしていったらよいか改めて考えていく必要があると思っています。皆様の声を聴きながら、協力し合い、地区支部活動が継続できるように努力していきたいと思っております。今後地区支部活動にご協力をお願いいたします。

峡南地区支部機関誌 「ぬくもり」の発行に寄せて



公益社団法人山梨県看護協会
会長 佐藤悦子

峡南地区支部で活躍の皆様、日頃より看護協会活動へのご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応に、多大なご尽力をいただきました。6月より会長に就任し、看護職の皆様の多方面にわたる活躍とご努力を見るたびに、本当に頭の下がる思いでいっぱいです。社会においても看護職の活動は、大いにクローズアップされております。本当にありがとうございます。コロナ禍において、私たちは改めてひとの命の大切さと普通の暮らしのありがたさを痛感してまいりました。そして、不安の生活の中では、人と人をつなぐことがいかに重要性がさらに強まったと感じております。

県看護協会が掲げる令和3年度の重点事業は少子高齢化・多死・人口減少の地域社会において期待される看護職のあり様を中長期的に見据えて ①地域包括ケア・地域共生社会実現への看護提供体制の構築 ②看護職の働き方改革の推進 ③看護の質向上を図るための人材育成 ④健康危機管理体制の強化 ⑤魅力ある看護協会活動の推進 の5つです。皆様とともに推進しております。

峡南地区の会員は2021年11月現在で289名、2020年度の最終会員数は296名でした。一人でも多くの仲間を増やしたいと心から思います。協会活動に対する地区支部の皆様の声は、赤坂繁美地区支部長様、佐野ひろみ地区理事様を通してぜひお届けください。

「みんなで創る協会」を根幹に据え、皆様のご理解、ご支援をどうぞよろしく願います。

看護功労者受賞者



看護功労者知事表彰によせて

身延町早川町組合立飯富病院 近藤秋子

幼い頃から思い描いていた私は、今日まで37年間看護の道を歩んで来ました。子育て中は住居のある地元で外来や訪問看護を行い、子供の成長と共に再び病棟看護に携わっております。歩んだ37年間のその時々で関わって下さった諸先輩方には導いて頂き、同僚とは苦楽を共にし、家族は常に支援者でした。受賞はそんな方々との集大成です。

この度は看護功労者知事表彰を頂き、本当にありがとうございました。式で知事から頂いた表彰状とお言葉は、身に余る光栄です。そして、学生時代の戴帽式で灯したキャンドルと、「我はここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん」と詠んだナイチンゲール誓詞は時を経ても忘れません。初心をいつも念頭に、これまでに培った看護観を大切に患者に寄り添い、常に患者の立場で思いやりを持った看護師であり続けたいと思います。



県民の看護師さんを受賞して

公益社団法人山梨看護協会
ますほ訪問看護ステーション 井上和代子

受賞にあたり、周囲の皆様には心から感謝申し上げます。同時に、沢山の素晴らしい看護師の方々がいる中、受賞させていただいたことに大変恐縮しております。

看護師になって何年も経ったある日、同級生に「保育園の時、将来なりたい職業は看護師って書いていたね」と言われました。自分では全く記憶になかったのですが、小さい頃の夢を今、叶えることができていたことに、心が温かくなったのを思い出します。

現在、訪問看護師として、その方の住み慣れた場所で、思いに寄り添いながら支援ができる喜びを感じながら働いています。その反面、難しさもありますが、在宅では利用者さんやご家族の“笑顔”や“穏やかな顔”を沢山みることが出来ます。“その顔”が私を元気にしてくれます。辛い時は職場の仲間が支えてくれます。困った時は他職種の方が協力してくれます。家に帰ると家族が和ませてくれます。みんなに支えられて今の自分があることに感謝し、今以上に周囲の期待に応えることが出来るよう頑張っていきたいです。

新人看護師紹介



峡南医療センター企業団
富士川病院
深澤 連

私は、祖父が入院した際に、患者さんだけでなく家族にも親身になって支えている姿に感銘を受けて、看護師を目指すようになりました。現在、1年目看護師として多くの方に支えてもらい看護を行っています。少しでも病院生活で患者さんや家族の不安を取り除くことが出来て、治療への専念や1日でも早く生活状況に戻るための看護が実践できるように日々の勉学と臨床経験を経て技術の工夫を身につけられるように励んでいきたいです。

新人保健師紹介



南部町役場
小林 美咲

私は新卒で、南部町の保健師として働いています。4月から南部町で働いていく中で住民の方や関係機関の方など多くの人と関わる機会がありました。特に関係機関の方々にはアドバイスを頂いたり、お会いした時に声をかけてくださったり、とてもありがたい存在です。日々の保健師活動をしていく中で人とのつながりの大切さを感じています。これからも人とのつながりを大切にして保健師活動をしていきたいと思っています。



峡南医療センター企業団
富士川病院
大塩 文香

私は、今年の3月まで甲府看護専門学校で看護について学び、4月から峡南医療センター富士川病院手術室に勤務しています。患者様の手術に関わる部署であり、とても緊張感のある現場ですが一つ一つ丁寧に取り組むことを心掛けています。4月から半年が経過しましたが、様々なことを学び、経験しています。患者様が安全に手術を受けられること、スムーズに手術が行えることを目標にこれからも学び、実践していきたいと思っています。



南部町役場
杉山 優風

人の温かさや保健師の盛んな活動の様子を聞き、南部町の保健師として働きたいと就職しました。日々の業務の中で、保健師として、また、社会人としてまだまだ経験がなく、力不足な自分に悩むことがあります。しかし、事業を通して、地域の方に声をかけられると、とても嬉しくなります。私の目標である信頼の厚い保健師を目指し、人の温かさやつながりを大切にしながら、地域の中に溶け込んでいきたいと思っています。



峡南医療センター企業団
富士川病院
深澤 真弓

「なぜ看護師になったの」ほぼお決まりで聞かれる質問。私は身内が入院した時に会った看護師さんの看護に惹かれ看護師を目指すこととなりました。しかし学校での実技研修、病院実習も無いままコロナ過での卒業。その3週間後には現場で看護師として患者さんの前に立っていました。毎日不安ではありますが、先輩たちに助けられ、日々経験を積んでいます。患者様に寄り添い、多くの看護が提供できるように、頑張っていきたいと思っています。



富士川町役場
砂田 つぐみ

4月から富士川町役場の子育て支援課で、新任保健師として働いております。社会人としても保健師としても分からないことが多く、日々緊張や不安を抱えながら取り組む毎日です。中でも、先輩保健師や助産師、職場の方々にご指導いただきながら、日々学びを深めています。保健師として、まだまだ未熟ではありますが学びや経験を通して、これからも住民の方々的心に寄り添えるよう励んでいきたいと思っています。

病院紹介

認知症・認知機能低下 患者ケアの取り組み

〜個別性あるケアを目指して〜

峡南医療センター企業団市川三郷病院

3階病棟 櫻井 順子

当院の入院患者は高齢者が多く、認知症・認知機能低下患者も多い状況です。平成30年12月1日より「認知症ケア加算2」の算定を行っています。認知症看護の認定看護師は不在ですが、看護協会主催の認知症看護（診療報酬加算対象）研修を毎年病棟看護師が受講しています。受講終了した看護師が中心となり、認知症・認知症ケアについて理解できるように学習会を開催しています。認知症ケアマニュアルを参照しながらアセスメントすることで患者の状態を知ることができ、個々の患者に沿った対応・ケアについて計画立案し、スタッフ全員が実践できるように日々奮闘しています。



新型コロナウイルス 感染症への対応

新型コロナウイルス感染症患者の 受け入れ状況と発症患者へのケア

峡南医療センター企業団富士川病院

感染対策室 廣田 直美

2019年2月14日、当院では新型コロナウイルス感染症の受け入れを開始し、2021年10月末日までに、延べ284名の患者さまを受け入れていました。年末年始やゴールデンウィーク中も山梨県コロナ対策本部の受け入れ要請に応じ、1日に最多8名の患者さまの入院を対応しました。隔離された環境下で味覚・嗅覚障害を呈し食事摂取が困難となり、肺炎によるカロリー消費、免疫力低下という看護問題に対し、嗜好に合う食事の買物代行やデリバリーの活用、レッドゾーン内に電子レンジと冷蔵庫、電気ポットの設置など食事摂取をすすめる援助を行っています。峡南地域の医療を守る使命感と院内感染を防止する責任感を持ち、日々、新型コロナウイルス感染症への診療、看護を提供しています。



コロナ禍でも出来ること

〜患者様、ご家族との絆〜

医療法人財団交通会しもへ病院

望月 栄子

当院は医療保険療養型病床の病院です。病床数は94床 高齢の患者様がほとんどで認知症の患者様や寝たきりの患者様もいます。コロナ禍の中、厳しい制限が続き何一つ楽しいことなどなかった患者様です。何かできることはないか？考えました。面会のできない辛さは、患者様は勿論の事、ご家族の大きなストレスとなりました。そこで2〜3週間ごとにご家族に電話を入れ患者様がお元氣であることを伝えました。また写真を添えて手紙も送りました。ご家族からは、「ありがとうございませう」と言うお言葉を頂き、看護師は皆救われた思いでした。

お誕生日にはカードと共にケーキのプレゼントを行いました。こんなことしかできませんでしたが、患者様やご家族の笑顔に勇気を頂きました。



多職種による会議を 実践しています！

一人ひとりの生活をささえるために！

社団医療法人峡南会峡南病院

佐野 睦美

地域包括ケアシステムの重要性や必要性が高まっている現在、当院では退院後も継続した医療・看護が必要な患者さんへのケアカンファレンスを実施しています。

医師・看護師・訪問看護師・ケアマネジャー・管理栄養士・訪問介護職員などの多職種連携によるチームで、情報を共有し患者さん・家族の思いや意向を確認しながら退院に向けての準備や退院後の支援について話し合います。

住み慣れた地域での生活に寄り添って、安心・安全な在宅療養を支援していく中で、患者さんや家族との信頼関係が構築され生きる意欲を支えていけると考えます。患者さん・家族の望む「自分らしい生活を送れる」ように今後も、より充実したケアカンファレンスを実践していきたいと思えます。



みんなで取り組む認知症ケア

生活リズムを整え

身体拘束をゼロにしよう！

身延町早川町組合立飯富病院

認知症看護認定看護師 宮崎 真理子

当院にはDCT（認知症ケア）チームがあります。多職種が集まりチームで認知症の人だけではなく、せん妄リスクのある患者さんも見落とすことのないようにカンファレンスで予防方法・対応を検討しています。カンファレンスの結果は各チームに伝達され、統一した個性のある認知症ケアが提供できるように取り組んでいます。身体拘束・薬物抑制を最小限にできるよう、病棟のホールに集まりボールを使ったアクティビティや昭和歌謡・軍歌を聞いたり歌ったり、塗り絵や折り紙、編み物など日中の活動を取り入れ夜間の睡眠を促し、生活リズムを整える活動にスタッフみんなで取り組んでいます。



透析室でのCOVID感染対策

感染者ゼロを目指して！

公益財団法人身延山病院

佐野 加奈子

現在当院透析室には、南部町と身延町から46名が通院治療しています。

透析患者は感染し易く重症化しやすいため、COVID感染対応のガイドラインに沿って検討し、令和2年4月下旬より昼食提供の中止、送迎サービスの停止、エレベーター乗車人数制限、有熱者の隔離透析などを実施しています。

隔離透析は、火・木・土曜日の午後をそれにて、感染対応専用ベッドを決め、ビニールシートで簡易個室を作りました。送迎サービスは、令和2年7月より乗車人数を縮小し送迎車にビニールシートによる間切りをし、感染対策をとり再開しています。何より患者家族の方々が、手洗い・マスク・3密を避けるといった生活を続けてくださっていることが、コロナ感染者ゼロにつながっていると思えます。



活動紹介

青洲高校・増穂中学校への出前講座

医療法人財団交通会
しもべ病院 赤坂 繁美

7月12日、青洲高校にて、訪問看護ステーション所長の石井啓子様にご講義いただきました。訪問看護時のエピソードを交えての講義で、学生さんからは、「看護師さんというと病院の看護師さんというイメージが強かったが、この講義を聴いているんなら看護師さんがいるんだなと思った。」という声が聞かれました。

10月19日、増穂中学校にて、しもべ病院総看護師長の望月栄子様、看護師さんの仕事について、看護師さんの大変な所、看護師さんのやりがい等、体験談を交えながらご講義いただきました。学生さんからは、「最初は興味がなかったが、講義を聴いて看護師の仕事に興味が湧いてきた。将来の職業への視野が広がった。」という声が聞かれました。

石井啓子様、望月栄子様、お忙しい中講義をしていただきありがとうございました。



増穂中学校



青洲高校

トピックス研修のご報告

峡南医療センター企業団
市川三郷病院 五味 智恵子

「未来と翼」石黒仁先生による「やる気スイッチの入れ方」オンライン研修会を拝聴しました。日頃の自分を振り返り、感情や価値観と向き合う良い機会となりました。自分を認め、他者を受け入れ良質なコミュニケーションをはかれることの大切さに気が付かされました。患者指導や人付き合いに役立つ言葉選び、言葉がけも多く学びました。看護師としても、人としても心豊かに過ごしていけるよう頑張っていこうと思いました。ご講義頂きありがとうございました。

編集スタッフ

委員長	市川三郷病院	五味智恵子
副委員長	富士川病院	石川 俊子
委員	しもべ病院	山下 玲子
	峡南病院	小林 一美
	飯富病院	一瀬小百合
	身延山病院	天野 美樹
	早川町役場	遠藤 香利

編集後記

コロナウイルス蔓延防止の影響により、短い期間の中、快く原稿にご協力いただき、こうして機関誌「第10号ぬくもり」を発刊することが出来ました。全ての皆様に感謝申し上げます。